

2026年度 沖代小学校 6年生 修学旅行①

6年生は6月8日、午前7時に沖代小学校をバスで出発し、最初の見学地である吉野ヶ里遺跡へ向かいました。



午前9時10分頃に到着した吉野ヶ里遺跡では、心配されていた雨も降っておらず、子どもたちは広大な遺跡を見学しながら、弥生時代の暮らしや歴史について学ぶことができました。

吉野ヶ里遺跡の見学中は、雨も降らず、貴重な学習経験をすることができました。見学を終えてバスに乗り込む頃には雨が降り始め、絶妙なタイミングで屋外活動を終えることができました。

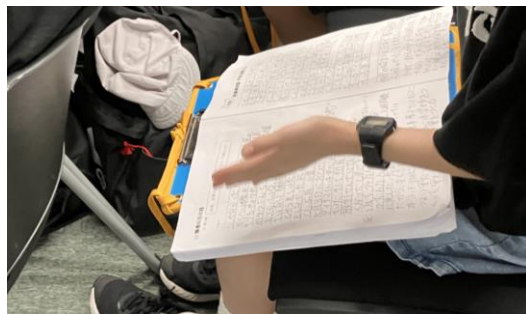


その後、11時10分頃から昼食をいただきました。おいしそうな料理が並ぶ中、お椀のふたが蒸気の影響でなかなか開かず、子どもたちが開け方のコツを教え合う、微笑ましい場面も見られ、楽しい昼食の時間となったようです。



昼食後は長崎市へ向かい、13時30分頃に原爆資料館に到着しました。

館内では原爆による被害や平和の大切さについて学び、子どもたちは展示資料を真剣な表情で見学していました。



その後、16時頃には平和公園を訪れました。長崎市内はあいにくの雨模様でしたが、子どもたちは平和への願いが込められた場所を実際に訪れることで、戦争の悲惨さや命の尊さについて考える機会となりました。



18時頃にホテルに到着。長い移動や見学を終えましたが、6年生は全員元気に過ごしています。貴重な学びと経験を重ねながら、とても充実した1日を過ごせました。

